

子どもの未来を育む

家庭教育3つの提言

東日本大震災と原子力発電所事故により避難が長期化した相双域内では、子どもたちを取り巻く環境が震災以前とは変わり、外遊びやスポーツをする機会が少なくなっていました。また、避難先から相双域内に戻ってきた家庭の中には、家族構成や居住環境が変化して苦労している人も少なくありません。

地域家庭教育推進相双ブロック会議では、東日本大震災以降のこのような相双域内における家庭教育を進める上での課題をふまえ、家庭で取り組むべき内容について提言します。

平成29年2月 地域家庭教育推進相双ブロック会議

1 地域との関わりはあいさつから

- 家庭や地域であいさつの輪を広げましょう。
- 地域みんなで子どもを見守りましょう。

- ① 新しい土地へ引っ越しをしてきて地域のことが分からない方がいます。大人も子どもも、近所同士、お互いに積極的にあいさつをしましょう。
- ② コミュニケーションを図るのが苦手な子どもが増えています。様々な人と関わるのがよい経験になるので、家族で地域行事に参加しましょう。
- ③ ダンプカーなど、交通量が増加しているスクールゾーンがあります。地域全体で子どもの安全を見守りましょう。



2 心身のバランスのとれた成長

- 様々な手伝いや外遊びを子どもに体験させましょう。
- 家族みんなで会話や食事を楽しみましょう。

- ① 子どもの生活経験や屋外での活動が、震災前と比べて少なくなっています。家庭での手伝いや外遊びなどの機会を増やしてあげましょう。
- ② 自動車での送迎などの運動不足による子どもの肥満が問題になっています。大人がお手本となって、子どもと一緒に体を動かすことを増やしましょう。
- ③ 「孤食」や「個食」が進んで、子どもの食生活の乱れが心配です。できるだけ家族みんなで食卓を囲んで会話や食事を楽しみましょう。



3 メディアとの関わり方の手本は大人から

※ この提言でのメディアとはテレビ、コンピュータ、ゲーム機、携帯電話、スマートフォンなどを指します。

- 長時間のテレビやゲームによる影響を考えましょう。
- 携帯電話やスマートフォンの使用ルールを子どもと一緒に作りましょう。

- ① お子さんはテレビやゲームに、長時間、夢中になっていませんか。このことによる健康や生活への悪影響について、話し合しましょう。
- ② 「だって、お父さんお母さんだってスマホをしてるじゃないか。(子ども談)」携帯電話やスマートフォンの使いすぎは、まず、大人が気をつけましょう。
- ③ 携帯電話やスマートフォンを子どもに預けたままになっていませんか。親の見守りのもとで携帯電話やスマートフォンを使用させましょう。



※ 地域家庭教育推進相双ブロック会議とは、相双域内の家庭教育の課題解決に向けた実践活動を推進する協議会です。(構成団体: 相馬地方・双葉地方PTA連絡協議会、相馬地方・双葉地方小中学校長協議会、モデルPTA、子どもの育成に関わる団体、家庭教育応援企業、行政機関など)